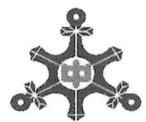


令和7年度

評価規準表

(2年生)



新潟市立宮浦中学校

はじめに

令和7年度の「評価規準表」を配布します。生徒一人一人が「何を」「どの程度」身に付けているかをお知らせするための「もと」になるものです。

評価規準

「〇〇がわかる」「□□ができる」など「具体的に何を」という、質的な目標基準です。

評価基準

「どの程度できるか」という量的な到達基準。区切り（カッティングポイント）のことです。

準 拠

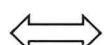
「何を 基にして」評価するかを表しています。

1 目標に準拠した評価と評定

学習状況の評価・評定は、より多くの生徒が意欲をもち続けて学習に取り組むように目標に準拠した評価（絶対評価）をしています。

参考までに目標に準拠した評価の「よさ」を集団準拠の評価と比較してみます。

◇集団準拠の評価（相対評価）
学習状況が学年や学級などの集団の中で、どの程度かということを評価する。



◇目標準拠の評価（絶対評価）
学習状況が各教科の目標・内容に照らして、どの程度かという学習の習熟度や達成度を評価する。

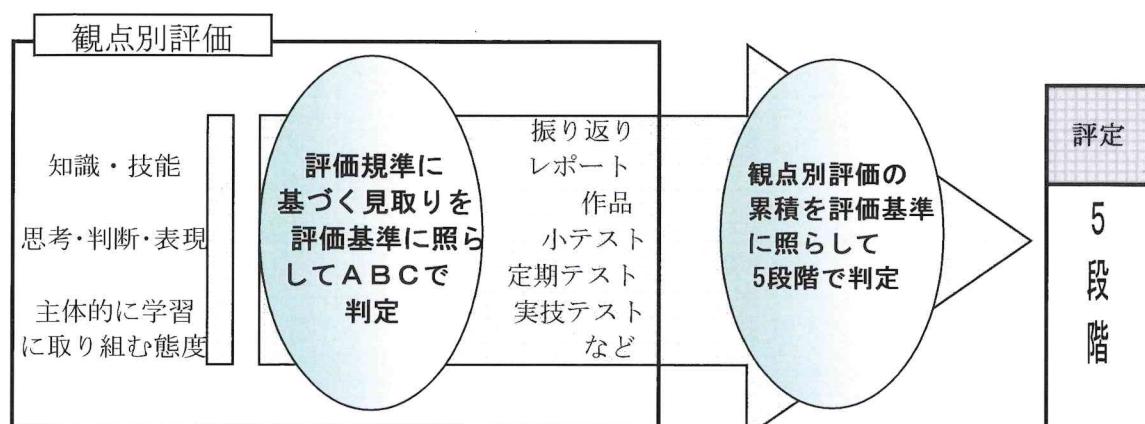


- 他の生徒との比較なので、その子の進歩の様子を捉えにくい。
- 生徒が少ないと相対的な位置付けでは信頼性を保てない。



- 学習内容がどの程度まで身についているかがわかる。
- 自分の努力次第で成績が向上するので意欲が継続しやすい。

目標に準拠した評価では、学習目標を3つの観点から評価します。それを「観点別評価」といいます。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を基本とする3観点から、各観点の達成度を評価します。基礎的・基本的な内容を確実に習得させ、自ら学び考える力を育む教育を目指します。



そのためには【何を】身に付けるのかを表す評価規準が必要になります。学習目標を3観点から評価するため、評価規準には評価の対象や内容が明確に記載されています。

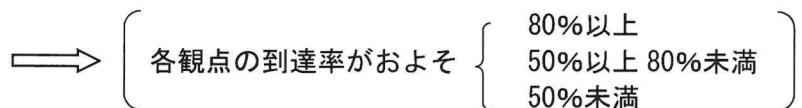
また、【どの程度】身に付けたのかを表す評価基準が必要になりますし、判定のよりどころがカッティングポイントになります。

観点別評価を

A(十分満足できる)

B(おおむね満足できる)

C(努力を要する)



の3段階で行うとき、1年間の学習状況を下の5段階で評定するときの判定材料に活用します。

5(十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの) …達成率平均値がおよそ90%以上

4(十分満足できると判断されるもの) …達成率平均値がおよそ80%以上～90%未満

3(おおむね満足できると判断されるもの) …達成率平均値がおよそ50%以上～80%未満

2(努力を要すると判断されるもの) …達成率平均値がおよそ25%以上～50%未満

1(一層努力を要すると判断されるもの) …達成率平均値がおよそ25%未満

※ 観点別評価の到達率と評定のカッティングポイントは全教科共通です。

※ 5段階評定算出のための観点の重み付けはなく、1:1:1です。

観点別評価が「A A A」であっても、到達率の平均値が90%に満たない時は、5段階評定が「4」になることもあります。また、「A B A」でも、達成率の平均値が90%以上ならば「5」になることもあります。

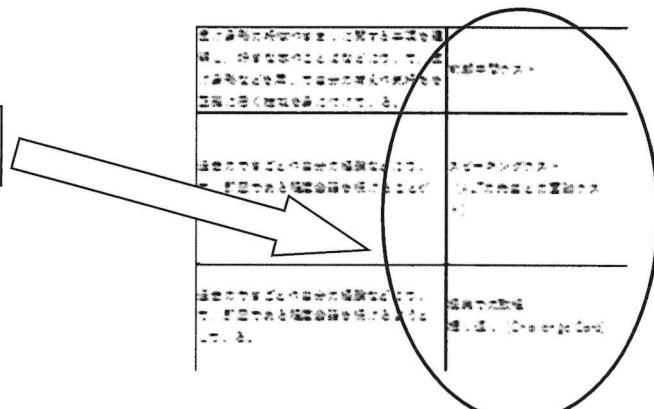
2 定期テストについて

目標に準拠した評価（絶対評価）の場面の一つとして定期テストがあります。当校では定期テストを年4回、6月、9月、11月、2月に実施しています。国語、社会、数学、理科、英語、保健体育の6教科（期末テストは技術・家庭が加わります）が対象で、2日間で実施します。100点満点で点数を算出します。また、定期テストの性質については、次のようにとらえています。

① 評価規準に照らして問題を作成します。学習内容がどこまで定着し、何ができるないかという自分の学習状況を知ることを目的として出題、作成します。

② 定期テストのみが評価・評定をする上で大きなウェイトを占めることのないようにし、他の評価方法と併用した形で評価を行います。他の評価方法とは、学習内容の区切りのよいところで『まとめテスト』（単元テスト）を行ったり、調べ学習や観察・実験などで『まとめレポート』を書いたり、実技テスト（パフォーマンス課題）を行ったり、振り返りシートの記入内容状況を確認したりします。

具体的なものは評価規準表の「評価資料」に記載しております。



- ③ 定期テストを通して、「テストを頑張る!」「自分の力がどの程度身についたか知ることができます」という学習意欲を喚起し、1～2週間の集中した学習習慣の形成を図るようにします。
- ④ 評価規準項目に照らし合わせて、自分の苦手な項目や定着が不十分な項目を知るとともに、長期休業中の課題や特別学習会等を活用して、不十分な点を補充していくようにします。定期テストへの基本的な考え方は①から③のとおりですが、近年の高校入試で学力検査への比重が高まる傾向があり、生徒や保護者から「順位」という相対的に位置を知りたいという希望や、「順位が出ると励みになる」という生徒の声があります。そこで5教科合計の順位に限り生徒からの申し出があれば口頭で伝えるようにします。順位や平均点、度数分布表を確認することで校内での相対的な自分の位置を知ることができます。

3 評価・評定の通知について

【通知方法】通知表により評価・評定を通知します。

【通知表の目的】

学校が生徒の学習状況や生活の状況について保護者に伝え、生徒の現状について理解を共通にして、相互に協力しながら目標に向かって生徒を育てるためのものです。

つまり、学校と家庭との架け橋であり、保護者と生徒との架け橋です。生徒の頑張りや特長、成長ぶりを認め、自信を与えるとともに、より一層の成長のために努力を促すためのものと考えています。

【通知回数と時期】

学習状況については、各教科3観点に「どのような力が必要なのか」をまとめた形で通知表に記載します。どのような部分を見て観点をついているかについては、本誌の評価規準表を参考にしてください。評価・評定の通知は年2回（前期末・後期末）お知らせします。

今年度も当校では、評価規準項目、カッティングポイント（評価基準）、評定への総括の仕方、観点別ABCと5段階評定との関連などの評価について研修を積み重ね、より客觀性・妥当性・信頼性のある評価を目指していきます。

国語

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
1 広がる学びへ ○見えないだけ(詩) ○アイスプラネット(小説) ○枕草子(古文) ○漢字①熟語の構成 ○魅力的な提案をしよう	知・技	・熟語の構成を理解し、漢字の語彙を増やしている。 ・古文において歴史的仮名遣いや文学史について理解している。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・登場人物の言動の意味に着目し、内容を読み取っている。 ・登場人物の関係を捉え、心情を読み取っている。 ・作者のものの見方、感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べて読み味わっている。 ・自分の季節の感じ方を文章で表現している。	定期テスト・ワークシート ・作文・スピーチ・音読
	主	・学習課題に沿って自分の考えをもとうとしている。 ・生活の中から多様な方法で題材を集めようとしている。	観察・振り返り
2 多様な視点から ○クマゼミ增加の原因を探る (説明文) ○情報を整理して伝えよう ○漢字に親しう ○文法への扉①自立語	知・技	・「具体」「抽象」の言葉の意味、関係性を理解している。 ・単語と自立語と付属語に分け、品詞の働きを理解している。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・文章の構成や展開について理解を深めている。 ・文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意し読み取っている。 ・身の回りにあるメディアを比較し、特徴を理解している。 ・話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えをわかりやすく伝えている。	定期テスト・ワークシート
	主	・文章の「まとめ」を読んで自分の考えを説明しようとしている。 ・必要な情報を集めるために、適したメディアを選ぼうとしている。	観察・振り返り
3 言葉と向き合う ○短歌に親しむ・短歌を味わう (短歌) ○言葉を比べよう ○言葉の力(随筆) ○言葉①類義語・対義語・多義語 ○メディアの特徴を生かして情報を集めよう	知・技	・対義語・類義語・多義語について理解している。 ・詩の表現技法について理解している。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・心情を表す語句や描写を捉え、見方や考え方を広げている。 ・文章に表れたものの見方や考え方を考え、理解している。 ・多様な方法で書くための材料を集め、整理している。	定期テスト・ワークシート・短歌創作
	主	・語句を選び、描写を工夫して作品をつくろうとしている。	観察・振り返り
4 人間のきずな ○ヒューマノイド(小説) ○字のない葉書(隨筆) ○表現を工夫して書こう ○言葉②敬語 ○漢字②同じ訓・同じ音をもつ漢字	知・技	・敬語の働きや種類、きまりについて理解している。 ・同じ音訓をもつ漢字について理解し、語彙を増やしている。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・時間の流れや出来事に沿って心情の変化を理解している。	定期テスト・ワークシート
	主	・登場人物の言動の意味を粘り強く読みとろうとしている。	観察・振り返り
5 論理を捉えて ○モアイは語る(論説) ○思考のレッスン①根拠の吟味 ○適切な根拠を選んで書こう	知・技	・環境問題を論じるときに使う漢語を覚え、言葉を広げている。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・意見を裏付けるための、適切な根拠の在り方について理解している。 ・自分の知識や考えと比較し、文章の構成や論理の展開を吟味している。	定期テスト・ワークシート
	主	・物事を多角的に検討し、自分の考えの幅を広げようとしている。	観察・振り返り
6 いいにしえの心を訪ねる ○平家物語(古文・音読) ○扇の的(古文) ○仁和寺にある法師(古文) ○漢詩の風景(漢詩・音読)	知・技	・作品の特色や時代背景、作者について理解している。 ・古文において歴史的仮名遣いや文学史について理解している。 ・漢詩の種類や表現技法、文学史について理解している。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・古語の意味を捉え内容を捉えている。 ・作品や作者のものの見方や考え方を読みとっている。 ・古典の世界に描かれたものの見方や感じ方に對し、自分の考えを書いている。	定期テスト・ワークシート・音読
	主	・古文や漢文のもつリズムや調子に慣れ親しみ、内容の読み取りに役立てようとした意欲的に取り組もうとしている。	観察・振り返り
7 値値を語る ○君は「最後の晩餐」を知っているか(評論) ○文法への扉②用言の活用 ○立場を尊重して話し合おう	知・技	・単語の活用について理解している。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・文章における具体と抽象の関係を理解している。 ・観点を明確にして文章を比較し、その分析をもとに構成や表現の効果を考えている。 ・表現の効果を考えながら、自分が感じた魅力を伝える文章を書いている。	定期テスト・ワークシート
	主	・文章で使われている比較の効果を考え、筆者の主張を理解しようとしている。 ・自分が感じた魅力が読み手に伝わるように、表現の効果を考えて文章を書こうとしている。	観察・振り返り
8 表現を見つめる ○走れメロス(小説) ○文法への扉③付属語 ○描写を工夫して書こう ○言葉③話し言葉と書き言葉 ○漢字③送り仮名	知・技	・単語の種類と働きについて理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。	定期テスト・ワークシート
	思・判・表	・登場人物の人物像や表現の効果に着目して作品の魅力を考えている。 ・抽象的な概念を表す語句が、作品に与える効果をとらえている。 ・場面の展開が明確になるように、構成を工夫して文章を書いている。	定期テスト・ワークシート
	主	・登場人物の行動や考え方について、共感できたところ、できなかつたところを理由とともにまとめようとしている。 ・人物像や表現に着目し、作品の魅力をとらえようとしている。	観察・振り返り

社会

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
近世の日本	知・技	近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を、情報を適切に選択しながら、日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識、技能を身に付けている。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見いだし、世界の動きと時代の特色とを関連させて考察しながら公正に判断して、それをまとめている。	定期テスト・レポート
	主	近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、主体的に追究しようとしている。	振り返りシート・課題提出他
地域調査の手法 地域の在り方	知・技	縮尺、方位、等高線、地図記号など地形図の読み取り方を身に付けている。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	身近な地域の地理的事象を、位置や空間的な広がりとのかかわりからとらえて、適切な調査テーマを設定している。	定期テスト・レポート
	主	身近な地域の調査に対する関心を高め、意欲的に情報を収集し、調査に取り組んでいる。	振り返りシート・課題提出他
日本の諸地域	知・技	日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色などについて概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けている。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	日本の諸地域の地域的特色を、ある地理的事象を中心として、他の地理的事象と関連付けるなど多面的・多角的に考察している。	定期テスト・レポート
	主	日本の諸地域の地域的特色に対する関心が高まっている。	振り返りシート・課題提出他
開国と近代日本の歩み	知・技	開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。	定期テスト・レポート
	主	近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国との関わりに留意しながら、意欲的に追究している。	振り返りシート・課題提出他

数 学

知・技 … 知識・技能
思・判・表 … 思考・判断・表現
主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
第1章 式の計算	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解することができる。 目的に応じて、簡単な等式を変形することができる。 	定期テスト、単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 	定期テスト、単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 	観察、レポート、ワーク、ノート
第2章 連立方程式	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式とその解の意味を理解することができる。 連立方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解することができる。 簡単な連立方程式を解くことができる。 	定期テスト、単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 一元一次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 	定期テスト、単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 	観察、レポート、ワーク、ノート
第3章 一次関数	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数について理解することができる。 事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解することができる。 二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 	定期テスト、単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	定期テスト、単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数のよさを実感して粘り強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、一次関数を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 	観察、レポート、ワーク、ノート
第4章 図形の調べ方	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 平行線や角の性質を理解することができる。 多角形の角についての性質を見いだすことができる。 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解することができる。 証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 	定期テスト、単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。 三角形の合同条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 	定期テスト、単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質などを証明することのよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 	観察、レポート、ワーク、ノート
第5章 図形の性質と証明	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の合同条件について理解することができる。 証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 	定期テスト、単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。 	定期テスト、単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質などを証明することのよさを実感して粘り強く考え、三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 	観察、レポート、ワーク、ノート
第6章 場合の数と確率	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 多次回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解することができる。 簡単な場合について確率を求めることができる。 	定期テスト、単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。 	定期テスト、単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、確率について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、確率を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 	観察、レポート、ワーク、ノート
第7章 箱ひげ図とデータの活用	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 	定期テスト、単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	定期テスト、単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図や四分位範囲のよさを実感して粘り強く考え、箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。 	観察、レポート、ワーク、ノート

理科

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
化学変化と原子・分子	知・技	原子・分子について理解し、様々な化学変化を説明することができる。質量保存の法則等、観察・実験の目的を理解し、結果をまとめることができる。	定期テスト・確認テスト等
	思・判・表	さまざまな化学変化について、実験結果から現象を説明することができる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	さまざまな化学変化に関心をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート等
動植物の生きるしくみ	知・技	動植物のからだのしくみと行動のしくみ、動植物のなかまと進化について理解している。光合成やだ液のはたらき等の観察・実験の目的を理解し、結果をまとめることができる。	定期テスト・確認テスト等
	思・判・表	生物のからだと行動のしくみ、動植物のなかまと進化について説明できる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	動植物の体のつくりとはたらきに興味をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート等
電流とそのはたらき	知・技	電流とそのはたらきについて、様々な法則性・規則性を理解している。電磁誘導のしくみ等、観察・実験の目的を理解し、結果をまとめることができる。	定期テスト・確認テスト等
	思・判・表	電流、電圧、抵抗、電力の関係について考察できる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	電流のはたらきに興味をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート等
天気とその変化	知・技	天気とその変化(雲のでき方や日本の天気等)についての現象を理解している。露点の観測等、観察・実験の目的を理解し、結果をまとめることができる。	定期テスト・確認テスト等
	思・判・表	天気とその変化(雲のでき方や日本の天気等)について説明できる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	身近な気象現象に関心をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート等

英語

知・技… 知識・技能
思・判・表… 思考・判断・表現
主… 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	領域	評価規準	評価資料
LESSON 1 Meet New Friends ・未来形(will) ・「～するつもりだ」be going to	知・技	【聞】	未来形(will, be going to)の特徴やきまりに関する事項を理解し、空港のアナウンスやこれからの予定について話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。	前期中間テスト
	思・判・表 やりとり	【話】	自分の予定や学校行事などについて、即興で伝え合うことができる。	スピーキングテスト (ALTの先生との面談テスト)
	主	【話】 やりとり	自分の予定や学校行事などについて、即興で伝え合おうとしている。	授業での取組 振り返り(Challenge Card)
LESSON 2 Fun with Books ・接続詞 when / if / that ・be sure (that)	知・技	【読】	接続詞の特徴やきまりに関する事項を理解し、おすすめの本について話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。	前期中間テスト
	思・判・表	【話】 発表	自分の予定や思い出について、即興で伝え合うことができる。	スピーチテスト (学級発表テスト・面談テスト)
	主	【話】 発表	自分の予定や思い出について、即興で伝え合おうとしている。	授業での取組 振り返り(Challenge Card)
LESSON 3 My Dream ・不定詞 (名詞・形容詞・副詞用法) ・must / must not	知・技	【書】	不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解し、将来の夢について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	前期期末テスト
	思・判・表	【話】 発表	自分の将来の夢について、なりたい職業やその理由などについて、段落構成を意識してスピーチをすることができる。	スピーチテスト (学級発表テスト・面談テスト)
	主	【話】 発表	自分の将来の夢について、なりたい職業やその理由などについて、段落構成を意識してスピーチをしようとしている。	授業での取組 振り返り (Challenge Card)
LESSON 4 Safe Clean Water ・There is/are ~. ・動名詞 ・have to / don't have to	知・技	【聞】	There is / are ~. を用いた文や動名詞の意味や働きを理解し、それらを活用して町の施設やそこでできることなどについて正確に書く技能を身に付けている。	後期中間テスト
	思・判・表	【読】	私たちの住む新潟市について、ALTの先生によく知ってもらうために、市にあるものやそこでできることなどを述べながら発表することができる。	
	主	【読】	私たちの住む新潟市について、ALTの先生によく知ってもらうために、市にあるものやそこでできることなどを述べながら発表しようとしている。	
LESSON 5 Visiting Australia ・SVOO(give A B) ・SVOC(call A B / make A B) ・how to 動詞の原形	知・技	【書】	動詞(giveなど) +A+B / 動詞(call, makeなど) +A+B の特徴やきまりに関する事柄を理解し、それらを活用して友達に贈るものや愛称などについて話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。	後期中間テスト
	思・判・表 やりとり	【話】	コラムやウェブサイトの記事を読んで、その大まかな内容を読み取ることができる。	スピーキングテスト (ALTの先生との面談テスト)
	主	【話】 やりとり	コラムやウェブサイトの記事を読んで、その大まかな内容を読み取ろうとしている。	授業での取組 振り返り(Challenge Card)
LESSON 6 Friends from Singapore ・比較級 ・最上級 ・同等比較	知・技	【読】	比較級、最上級、同等比較を用いた文の構造を理解し、それらを活用して、事実や自分の考えを正確に書く技能を身に付けていく。	後期期末テスト
	思・判・表	【書】	自分の好きなことや大切に思っていることなどについて、その理由を述べながらやりとりをすることができる。	
	主	【書】	自分の好きなことや大切に思っていることなどについて、その理由を述べながらやりとりをしようとしている。	
LESSON 7 Gifts from China ・現在完了形(経験用法)	知・技	【書】	現在完了(経験用法)の特徴やきまりに関する事項を理解し、絵の内容や自分の経験などについて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	後期期末テスト
	思・判・表	【聞】	日常的な話題の説明や会話(プレゼントの相談など)を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。	
	主	【聞】	日常的な話題の説明や会話(プレゼントの相談など)を聞いて、重要な情報を聞き取ろうとしている。	
LESSON 8 Rakugo Goes Overseas ・現在完了形(完了用法) ・現在完了形(継続用法)	知・技	【書】	現在完了(完了用法・継続用法)の特徴やきまりに関する事項を理解し、絵の内容や自分の経験などについて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	後期期末テスト
	思・判・表	【聞】	日常的な話題の説明や会話(プレゼントの相談など)を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。	
	主	【聞】	日常的な話題の説明や会話(プレゼントの相談など)を聞いて、重要な情報を聞き取ろうとしている。	

音楽

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現力
 主 … 主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力

単元	観点	評価規準	評価資料
曲にふさわしい発声で歌おう 「生命が羽ばたくとき」「浜辺の歌」「おおシャンゼリゼ」	知・技	声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。	演奏・ワークシート
	思・判・表	リズム、旋律、強弱、テクスチュアを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。	演奏・ワークシート
	主	曲想と音楽の構造や歌詞の内容に関心をもち、音楽活動を楽しみながら学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	演奏・ワークシート
曲の形式を生かして歌おう 宮浦祭学級合唱曲 卒業式「全校合唱曲」	知・技	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身につけている。	演奏・ワークシート
	思・判・表	曲のリズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、表現を創意工夫している。	演奏・ワークシート
	主	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	取組の様子・ワークシート
オーケストラによる表現を鑑賞しよう 「展覧会の絵」	知・技	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。	ワークシート
	思・判・表	知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを味わって鑑賞している。	ワークシート
	主	オーケストラの豊かな響きに关心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	取組の様子・ワークシート
ギター演奏の楽しみ ギターの奏法	知・技	ギターの基礎的な奏法を生かした音楽的表現をするために必要な技能を身につけている。	演奏・ワークシート
	思・判・表	奏法による音色の違いに注目し、曲にふさわしい演奏方法を考えながら活動に取り組んでいる。	演奏・ワークシート
	主	ギターの演奏に关心をもち、主体的に練習に取り組んでいる。	演奏・ワークシート
総合芸術オペラに親しもう 「アイーダ」	知・技	様々な要素を含む総合芸術としてのオペラについて理解している。	ワークシート
	思・判・表	声の特徴や表現の豊かさを感じとり、声や表現の特徴について説明することができる。	ワークシート
	主	総合芸術オペラの良さを感じとりながら、主体的に学習に取り組んでいる。	ワークシート・鑑賞の様子

美術

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
デザイン ひと目で伝える表示	知・技	ピクトグラムの機能や意図を理解し、多くの人にわかりやすく伝える方法を工夫することができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート
	思・判・表	伝えたい内容や目的に合ったデザインを考えるとともに、そのよさや美しさを味わうことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
	主	わかりやすく伝えるデザインに関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
絵画 世界観や魅力を伝える	知・技	イラストレーションの機能や意図について理解し、伝えたいことに合わせて表現方法を工夫することができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート
	思・判・表	伝えたい内容や伝える相手から発想するとともに、イラストレーションのよさや美しさを味わうことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
	主	イラストレーションで伝えることに関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
工芸 つくるって体感 みんなで体験 「木で作る」	知・技	木の特徴を理解し、目的や対象に合った制作方法を工夫して表すことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート
	思・判・表	使う目的や用途から発想して、構想を練るとともに、木の作品のよさや美しさを味わうことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
	主	生活を楽しくする木でつくられた作品に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
鑑賞	知・技	形や色彩、材料などの性質や効果などを理解し、作品の印象などをとらえることができる。	ワークシート・自己評価表・振り返り用紙・観察評価
	思・判・表	作品の造形的な美しさや作者の表現意図と工夫について考えながら鑑賞することができる。	ワークシート・自己評価表・振り返り用紙・観察評価
	主	作品のよさや美しさなどを新しい視点を探しながら感じ取り、見方や感じ方を粘り強く広げることができる。	ワークシート・自己評価表・振り返り用紙・観察評価

技 術

知・技 … 知識・技能
思・判・表 … 思考・判断・表現
主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
生物育成の技術	知・技	生物育成に必要な知識及び技術の習得し、課題解決に向けて前向きに授業に参加している。 計画に応じて、適切な資材や道具を用いて管理作業ができる。	振り返り記録 定期テスト
	思・判・表	育成する生物に対して、成長に応じた対応を工夫している。	振り返り記録
	主	生物の計画的な管理方法についての知識を付け、問題解決しようとしている。	振り返り記録
エネルギー変換の技術	知・技	エネルギー変換に必要な知識及び技術の習得し、課題解決に向けて前向きに授業に参加している。 電気製品の加工において材料の切断・接合ができる。 機器の保守点検と事故防止ができる。	製作図、製作品 振り返り記録 定期テスト
	思・判・表	エネルギーの利用について創意を生かした提案ができる。	製作図、製作品 振り返り記録
	主	機器の構造や電気回路、各部の働きについての知識を身に付け、問題解決しようとしている。	製作図、製作品 振り返り記録

家 庭

知・技 … 知識・技能
思・判・表 … 思考・判断・表現
主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
衣生活・住生活と自立	知・技	基本的な手縫い(まつり縫い等)ができる。 簡単な衣服の材料や状態に応じた日常着の補修や手入れを理解し、適切にできる。 生活に役立つもの(トートバッグ)を製作することができる。 衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の選択について理解している。 住居の機能と室内環境の整え方について理解している。 家族が心地よく住むための条件がわかる。	作品・観察評価 ノート・作品 作品 定期テスト
	思・判・表	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身につけている。	ワークシート
	主	衣生活・住生活についてよりよい生活の実現に向けて衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、実践しようとしている。	観察評価・ノート

保健体育

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
集団行動 体つくり運動	知・技	体つくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、取り組むことができる。	前期中間テスト 技能テスト
	思・判・表	自分の課題を発見し、課題解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	体つくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとして、話し合いに参加しようとする。健康・安全に気を配っている。	振り返り 授業での取組
陸上競技	知・技	陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。各種目の特性に応じて基本技能を習得することができる。	前期中間・期末テスト 技能テスト
	思・判・表	自分や仲間の動きの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫するとともに、考えを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	練習や記録会に積極的に取り組み、記録の向上や競争の楽しさを味わうことができる。ルールやマナーを守り、健康・安全に注意して学習することができる。分担した役割を責任を果たして学習している。	振り返り 授業での取組
水泳	知・技	水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。各泳法の手と足の動き、呼吸のバランスをとって泳ぐことができる。	前期期末テスト 技能テスト
	思・判・表	自分や仲間の動きの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫するとともに、考えを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	練習や記録会に積極的に取り組み、技能の向上や競争の楽しさを味わうことができる。ルールやマナー、事故防止の心得を守り、健康・安全に注意している。分担した役割を責任を果たして学習している。	授業での取組 振り返り
器械運動	知・技	器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。技や発展技を行い、それらを組み合わせることができる。	前期期末テスト 技能テスト
	思・判・表	自分や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えを他者に伝えることができる。	学習カード 授業での取組
	主	器械運動に積極的に取り組み、よい演技を認めようとしている。仲間の学習を援助しようとし、健康・安全に注意して学習している。	振り返り 授業での取組
球技	知・技	球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。各種目の特性に応じた攻防をすることができる。	後期中間・期末テスト 技能テスト
	思・判・表	技能や攻防などの自分や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自分や仲間の考えを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	球技に積極的に取り組み、フェアなプレイを守っている。話し合いに参加し、仲間のプレイを認め、援助しようしたり、健康・安全に気を配っている。	振り返り 授業での取組
体育理論	知・技	運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方、安全な行い方にについて理解できる。	前期中間・期末テスト
	思・判・表	運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方にについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	授業での取組 振り返り
	主	運動やスポーツが多様であること、意義や効果と学び方についての学習に積極的に取り組んでいる。	授業での取組 振り返り

道徳の評価について

道徳の評価は、担任の先生による文章での記述式評価です。評価は「宮浦ノート（道徳ノート）」でのみなさんが書いた内容をもとに行います。

よって、毎時間の授業での「まとめ」と「振り返り」をしっかりと記入しましょう。特に「振り返り」では、授業を鏡にして「これまでの自分」を見つめながら、自分自身のよりよい成長に向けて「これから自分」について深く考え、しっかりと書きましょう。

道徳があった日の終学活や、翌日の朝読書の時間などを活用して、左記の「道徳授業の記録（自己評価）」も書いていきましょう。

前期・後期の終わりには自分の心の

成長を振り返り、自分と向き合いながら、左記の「前期（後期）の授業を終えて…」を記載しましょう。

道徳の評価では、担任の先生がこのように蓄積されたみなさんの成長を確認しながら、文章で評価を行います。